

今夏の電力需給状況について

平成 27 年 9 月 5 日
関西広域連合

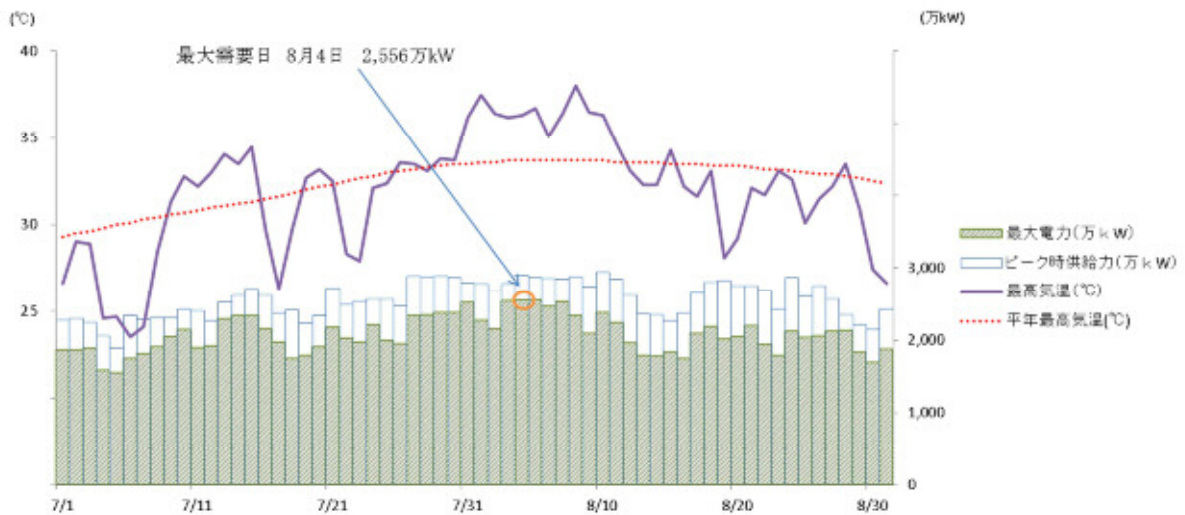
節電要請期間中（平成 27 年 7 月 1 日～平成 27 年 8 月 31 日）の状況は以下のとおり

- 電力需給状況 〔需給見通し時〕
 - 最大需要：2,556万kW（8月4日16時台） 〔2,791万kW〕
 - 供給力：2,902万kW 〔2,875万kW〕
 - 使用率：88% 〔予備率3%〕

- 節電の状況
 - ピーク時間帯（14時台）では、平成22年度夏比約▲16%（約▲420万kW）

〔参考〕今夏の節電要請内容：昨夏同様（平成22年度夏比13%減）の節電の着実な実施

今夏の電力需要実績・供給力と最高気温の推移



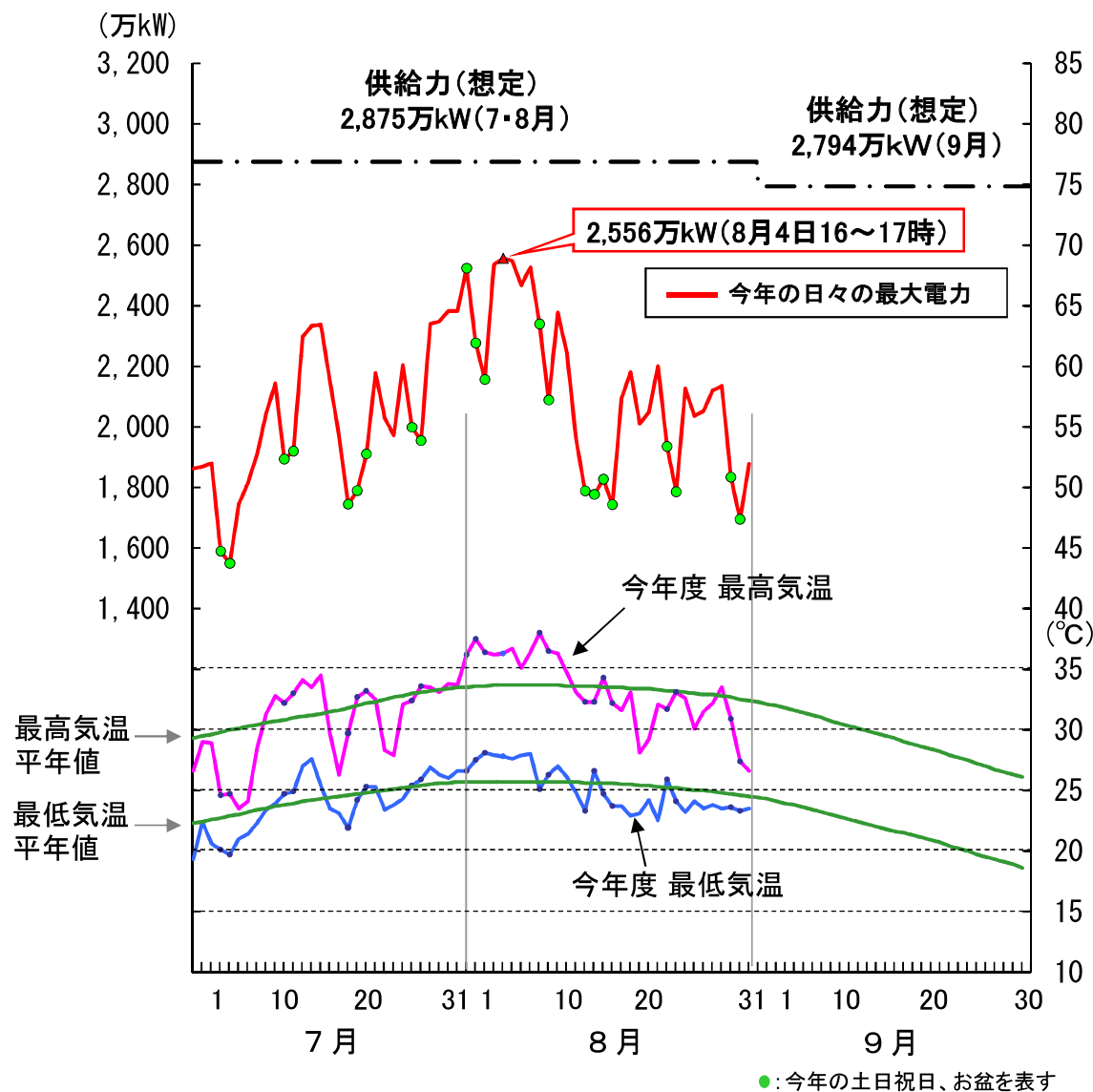
- 今年は大阪管区気象台において日最高気温 35℃以上の猛暑日が7月31日から8月10日まで11日連続となるなど平年より高温で推移した期間があったものの、電力需給は安定して推移

- 今夏の関西電力の発電所の主な計画外停止等は以下のとおり。
 - ・ 姫路第二発電所1～6号機（48.65万kW）の蒸気タービンの応急対策工事が6月11日から実施され、3、4号機は7月17日、1、2号機は7月21日、6号機は8月10日から運転開始（現時点で5号機は試運転中）
 - ・ 7月9日～7月13日 海南3号機（60万kW） 停止（給水ポンプ出口弁の損傷）
 - ・ 7月18日～7月26日 御坊1号機（60万kW） 出力抑制（電気集塵機の浸水）

- 火力発電所のトラブルリスク等を踏まえ、電力需給がひっ迫に至ることのないよう、引き続き府県民や事業者の皆様に節電の着実な実施を呼びかけていく。

今夏の最大電力および気温の推移

関西広域連合
エネルギー検討会ご提出資料
関西電力株式会社
平成27年9月5日



○今夏のこれまでの最大電力は、8月4日(火)16~17時の2,556万kWです。

◎気温(大阪) (°C)

H27年7月		平年差
平均	27.0	▲0.4
最高	30.6	▲1.0
最低	23.9	▲0.4

H27年8月上旬		平年差
平均	31.1	+2.0
最高	36.5	+2.7
最低	27.3	+1.6

※気温は全て8/1~10の平均値

H27年8月中旬		平年差
平均	27.8	▲1.2
最高	32.1	▲1.5
最低	24.3	▲1.4

※気温は全て8/11~20の平均値

H27年8月下旬		平年差
平均	27.0	▲1.3
最高	31.1	▲1.8
最低	23.7	▲1.3

※気温は全て8/21~31の平均値

◎猛暑日(最高気温35°C以上) (日)

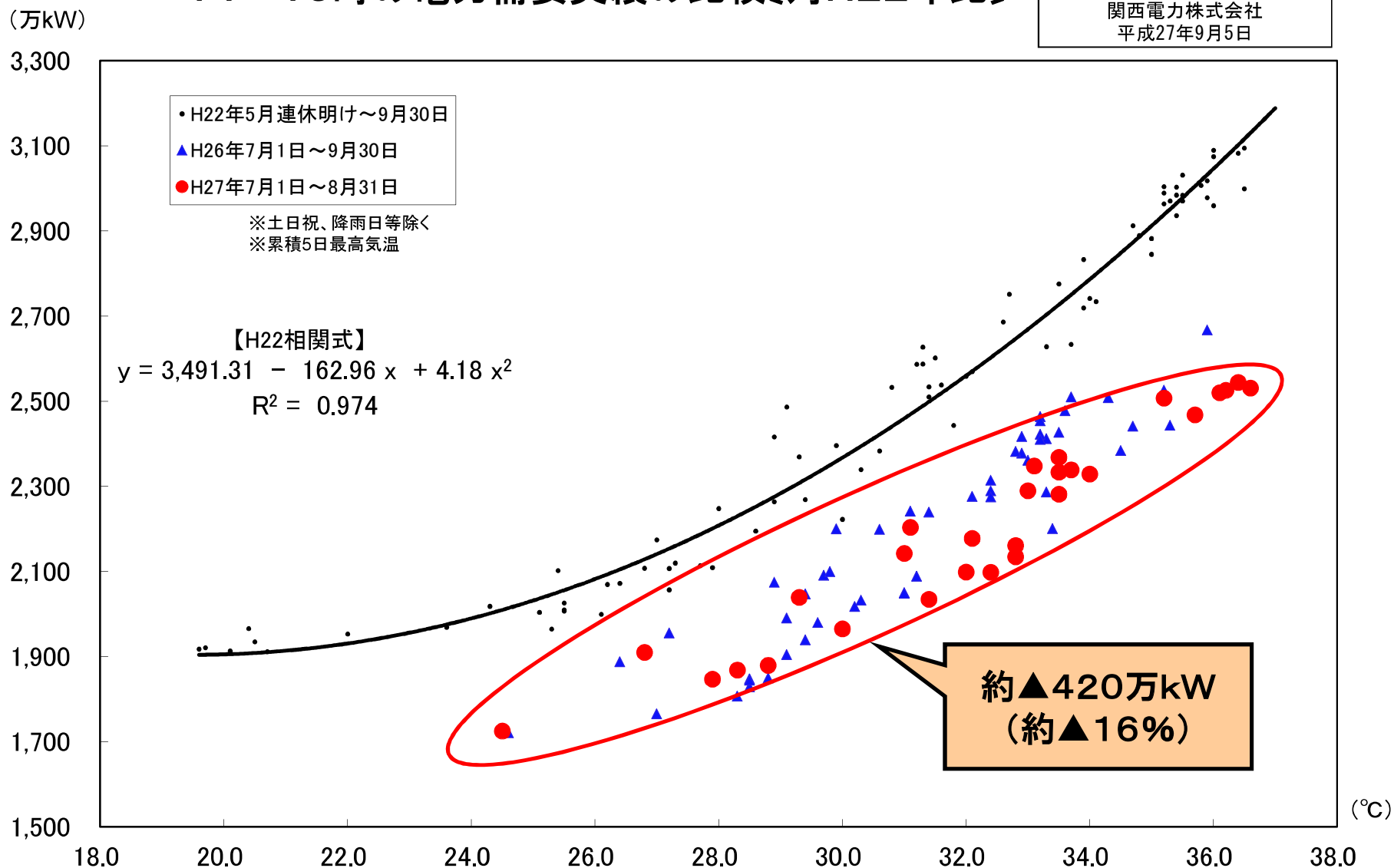
7月	8月			計
	上旬	中旬	下旬	
1	10	0	0	11

◎熱帯夜(最低気温25°C以上) (日)

7月	8月			計
	上旬	中旬	下旬	
12	10	2	1	25

14～15時の電力需要実績の比較〔対H22年比〕

関西広域連合
エネルギー検討会ご提出資料
関西電力株式会社
平成27年9月5日



○7/1から8/31までの実績では、H22年と比べて、平均で約420万kW(約16%)減少しています。この中に節電効果が含まれているものと考えられます。

今夏と平成26年度夏の節電の比較〔対H22年比〕

関西広域連合
エネルギー検討会ご提出資料
関西電力株式会社
平成27年9月5日

3

		H27年度 夏(今夏) [算定期間:7/1~8/31]		H26年度 夏 [算定期間:7/1~9/30]	
		減少量	減少率	減少量	減少率
節電効果(全体)		約420万kW	約 16 %	約320万kW	約 13 %
(内訳)	家庭用	約 80万kW	約 14 %	約 70万kW	約 14 %
	業務用	約200万kW	約 19 %	約135万kW	約 13 %
	産業用	約140万kW	約 14 %	約115万kW	約 12 %